

揃つた。

然して今度こそ完全に彼渡辺市長は天野一派の傀儡たることを暴露した。

彼れは開口一番「会社は最低限度として二百三十三名解雇することに成つた、諸君はコレを承認するかドウデヤ」

賢明なる市民諸君この言葉を味つて賞ひた。コレは言葉は会社の代表者の使ふ言葉で、調停者の使ふ言葉ではない。我々は今まで彼渡辺は天野の世話を焼いてゐると云ふことは知つてゐたが、彼れが天野の番頭とは知らずかつた。彼れは市長であると同時に天野の代理人であつたのである。更りに語を

「コレを承認しなければアトの問題はドウダヤ歸つて暇がウヨク考へ給へ」何んといふ暴言」コレが調停代表の言葉であり、態度であらうか

争議團は既に二ヶ月間戦ひ續けて来てゐるのである。天野一派の頑迷に正に暴動化し様としたことすら再三あつたのだ。コレが調停代表の努力が「勇者が非らずしてはトモ出来ぬ」ことである。

争議團代表が「先ずオ一矢を放つた」市長さん「調停者として此處に居るが、会社の代表としてお話をさされるのですか」先ずオ一矢を放つた。ソレテ百方辯解を始めた。然レモウ我々には問題がない。

解雇者の数と、解雇手当の問題とは切離して考へることは出来ぬ。

「條件如何によつては承認も出来るし、出来ないかも知れぬ」ドウデヤもつとガツクバラシに総てをグケまけて要れませんかお互に懸引合しに條件を提出して成るか成らぬかの御相談をせやうじやありませんか

コレが我々代表の返答である。然るに飽くまでも理不盡なる市長は「毎解雇者の数から先きに決めて貰は」と……

市民諸君ヨク判断して貰ひたい。要求條件を一々審議して行つて、更りにその至過を考へ、而して後將長して解雇者を出す必要があるか否かを研究すべきでは無いのか

而かも解雇に對する條件も示さずしてイキナリ人数を承認しろ。代表としてソレナ中途半端な案をドウレテ承認出来やう。争議團に相談することもあることかも知れないか

彼等が「アトでエツクリ決めやう鬼に角死刑と承認しろ」

市民諸君「コレデ、アハ、まゝしいと云つて統首台に上る人がありますか」

我々は最早や彼等と言葉を交す必要はない案を打ち出した。然レ試みに問ふた。考へることも相談することもある案を打ち出した。然レ試みに問ふた。承認しろと云はれることは、結局ヤル所までヤレ。と云ふ意味です。か

市長曰く「アヤヤヤヤ」

市長は「決私市を愛するより天野を愛した」

それ存りやむを得ない。我々もやる所までやつて見せやう。我々は、争議が永引くことは、恐るべき不祥事の將來する事を、念ひ出来るだけ早く丹

満なる解決を望むのだ。

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い

然レ諸君が見らるゝ通り、会社の斯くの如き態度。任官がはいでは無い